

日 時	令和8年2月24日(火) 13:20~15:00
学校名/機関名	鹿沼市立北押原中学校
対 象	2年生3クラス(74名)
講 師	大西 盛明 氏 (株式会社オニックスジャパン 代表取締役会長) 橋本 恵美 氏 (栃木小松フォークリフト株式会社 代表取締役会長) 林 明夫 氏 (株式会社開倫塾 代表取締役社長)
内 容	<p>テーマ「Challenge For My Dream」に基づき、職業体験を終えた生徒たちが働く意義を深める機会として、製麺業、物流機器販売、教育事業など、異なる分野で活躍する3人の講師が講話を行いました。</p> <p>講話では、まず働くことの本質が「製品やサービスを通じてお客様の困りごとを解決し、世の中の役に立つこと」であると説きました。会社も部活動と同じくチームプレーが大切であり、自分の役割を責任持って果たすことで仲間からの信頼が得られると強調しました。「若い時の苦勞は買ってでもしろ」という言葉どおり、若いうちの失敗は全て成長の糧となり、取り戻すことができるかと説きました。一番の後悔は「できなかったこと」ではなく「やらなかったこと」であると伝えました。学校での学びは人生の選択肢を増やすための土台であり、大人になってからも学び続ける姿勢が大切であると訴えました。日々の元気な挨拶や整理整頓といった当たり前の習慣が、社会人になっても重要であるとししました。</p> <p>苦しいことも「幸せに通ずる門」と捉えてチャレンジし続けることで、個性を生かした最高の人生が送れると締めくくりました。</p>

